

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察防除情報第16号

野菜類、花き類、ハウスびわのオオタバコガの防除対策について

一部でオオタバコガの発生が多くなっています。今後、野菜、花き全般、ハウスびわで被害の増加が予想されますので下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) フェロモントラップ(諫早市)の9月5半旬からの誘殺量は平年より多く推移している(図1)。また、病害虫防除員(フェロモントラップ)の報告によると一部地域で9月5半旬の誘殺量が急激に増加した(ホームページ参照)。
- (2) 9月下旬のプロッコリー巡回調査(12筆)では、株当たり寄生幼虫数0.0頭(過去3カ年平均0.1頭)、発生圃場率25.0%(同22.2%)であった。
- (3) 9月下旬のいちご(本圃)巡回調査(26筆)では、寄生株率0.1%(前年0.1%)、発生圃場率3.8%(同3.7%)であった。
- (4) 9月下旬のレタス巡回調査(8筆)では、発生を認めなかった(平年 寄生株率0.1%、発生圃場率1.3%)。
- (5) 気象予報(福岡管区气象台、10月1日発表)によると、向こう1ヶ月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

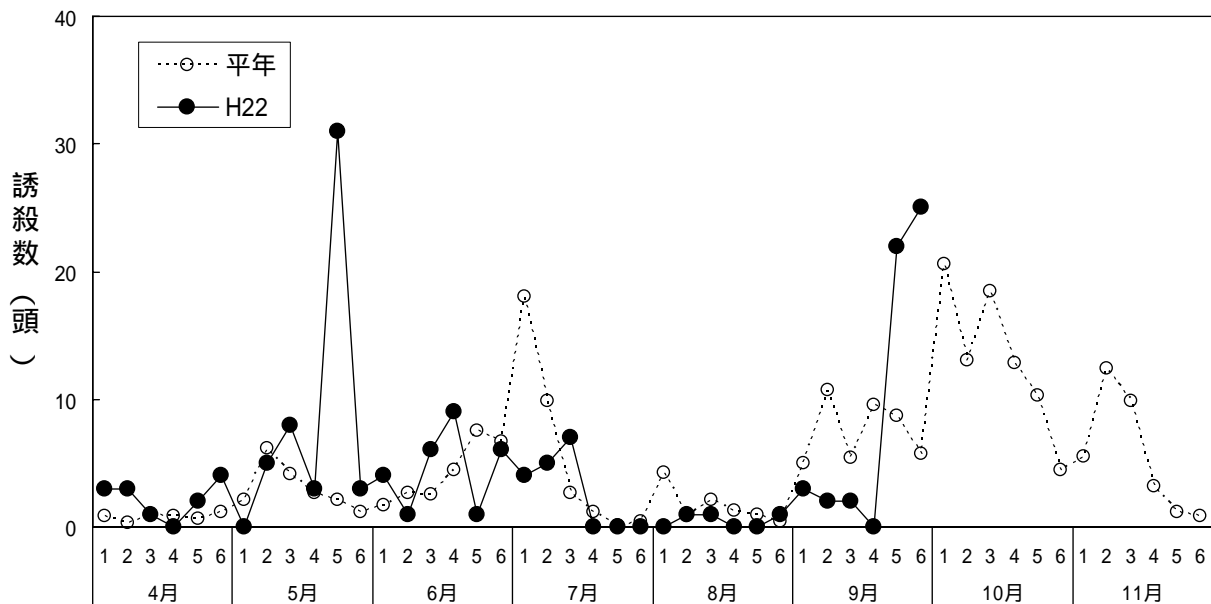


図1 フェロモントラップにおけるオオタバコガ誘殺状況 (諫早市小船越町)
 H22より粘着板からファネルトラップに変更
 平年: H12~H21の平均値(最大・最小除く)

2. 防除対策

- (1) 幼虫の齢期が進むにつれ薬剤の効果が低下するので、圃場をよく観察して早期発見に努め、若齢期のうちに防除する。
- (2) 幼虫は植物体の内部に食入するため特に薬液がかかりにくく、防除効率が低下するので早期防除に努める。
- (3) 被害部位（果実・花蕾・新芽等）や摘心・摘花した腋芽や花蕾などは、卵や幼虫が寄生している発生源となることがあるため、圃場内に放置せず、圃場外に持ち出して処分する。

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027